

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年2月3日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年12月29日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University, Long Beach(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年8月～2024年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月～12月 2 学期: 1月～5月 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	
創立年	

## 留学費用

留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	6800	1020000 円	授業料負担型のため
宿舍費	6500	975000 円	寮費 + 食費
食費	0	0 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	200	30000 円	50\$×4ヶ月
現地交通費	0	0 円	無料シャトルバスで登校( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)	500	75000 円	
被服費	0	0 円	
医療費		50000 円	ワクチン
保険費		15000 円	形態: 明治 + csulb
渡航旅費	0	0 円	
ビザ申請費		約 80000 円	ビザ申請料と SEVIS 費
雑費	500	75000 円	生活必需品など
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	14500\$ (=円)	2175000 円	
総計(A+B) ※円		2175000 円	1\$ = 150 円で計算

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：LAX 経由地：

復路 出発地：LAX 目的地：羽田 経由地：

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社：デルタ航空  
料金：25万円ほど

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社：                      料金：  
復路 航空会社：                      料金：                                      ∴合計：

### 航空券購入方法

- 旅行代理店(店名：                      )
- インターネット(サイト名： デルタ航空のウェブサイト)
- その他(                      )

## 滞在形態関連

### 1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： ビーチサイド)     アパート     ホームステイ

### 2) 部屋の形態

個室     相部屋(同居人数2)

### 3) 共有部分

バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

### 4) 住居を探した方法：

大学からメールがくるので指示に従いました。

### 5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ビーチサイドは現地生が多く、寮のイベントもあるのでたくさん友達ができたと思います。  
寮の中でも唯一のオフキャンパスなので不便に思うかもしれませんが、意外と楽しく、周りにお店も多いのでいいと思います。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外部省のたびレジを登録しておくと、事件や事故があった際にメールで教えてくれる。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内や寮内のWIFIは基本繋がるので普通に使えた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を解説して、たまに親からWISEなどを通して送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食などはこっちでも調達できるので、そこまでたくさん持っていく必要はないけど、こっちで買うと物価がかなり高いので日本から持ってきた方がいいかもしれません。日本にしか売ってないお菓子、お土産を持って行ってあげるとかなり喜ぶと思います!(お菓子だったらグミとか、お土産はハローキティが人気なので喜ぶと思います笑)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前の8月にクレジットカードで支払った。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(取りたいけど enroll していない授業は授業に出席して教授に直接許可を取ってからメール、その後は留学担当の事務室にメールするかオンラインフォームを送れば取りたい授業を取ることができます。) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Sociology	社会学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Oliver Wang
授業内容	Social norm, Gender, Class, Marriage, Education など
試験・課題等	レポート2個。オンラインディスカッション4つほど。毎週の小テスト。出席。
感想を自由記入	教授の英語が聞きやすくスライドもあるのでわかりやすい授業だった。成績の評価の仕方はレポートがメインでテストはないので比較的単位は取りやすい。講義中に数分間休憩を取ってくれる優しい教授で、個人的にはこの先生の授業は面白くて好き。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Citizenship	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Kimberly Walters
授業内容	環境問題や時事問題、Critical thinking, SDGs について
試験・課題等	テスト 4 回、課題、小テスト
感想を自由記入	課題が大変で小テストの内容も難しい。だが、試験は open book なのでノートを見たり、友達と協力して取り組めるのでよかった。クラスメイトのほとんどが留学生なので先生も優しくかった。授業では日本の授業では学べないような内容のことを学べてよかった。この学期にとった授業の中で一番難しかったけどやりがいのあるクラスだと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Gender, Race, Sex, and Societies	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に75 分が 2 回
担当教授	Mariam Youssef
授業内容	LGBTQ や男女の性差について
試験・課題等	Mid exam, Final exam, Reading assignment, paper × 2
感想を自由記入	ほぼ毎週 Reading assignment があるがそこまで大変ではない。Mid や Final も先生が事前に study guide をくれるのでそれに沿って勉強すれば A を取ることができる。授業の内容は全部興味深いもので、先生も面白くて優しい人だったのでこの授業を取ることを考えている人はこの先生がいいと思う。LGBTQ などはアメリカでこそ学ぶ価値があるものだと思うので、興味のある人は履修することをお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Steven Rouso-Schindler
授業内容	様々な国の文化、家族や結婚、ジェンダーについて
試験・課題等	Mid term×2, Final exam
感想を自由記入	成績は全てテストで評価するので、出席は必須ではないがした方がいい。授業中には映像を見て、それについてのディスカッションを行なっていて、その部分がテストによく出た。テスト前に study guide をくれるのでしっかり勉強していれば単位はもらえる。教授は優しい人で授業もわかりやすかった。授業内容も面白かったので学びがいがある授業だった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFLの勉強
	10月～12月	大学間協定留学に応募
留学開始年	1月～3月	出願
	4月～7月	履修登録、ビザ申請、ワクチン接種、航空券、寮の申請
	8月～9月	渡航
	10月～12月	Final Exam, 帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学を志すみなさんへ

留学に向けて今自分ができることを精一杯頑張ってください！協定留学応募前なら語学試験の勉強、応募後で留学が決まっている人は航空券、寮、ビザ、ワクチン、履修登録など渡航前にやるのがたくさんあるので、一つずつ着実にこなしていきましょう。また、留学前に英語力をつけることも大事です。私はしっかりやっているつもりでしたが、それでも留学した初めの頃はなかなか聞き取れなくて何回も聞き返したりしていました。リスニング力を上げなければ相手との会話も成り立たないので、日本にいるうちはとにかくリスニング力、その次にスピーキング力を上げられるように勉強してほしいです。明治大学の留学生との交流イベントに参加してみたり、言語交換アプリを試してみたり、Netflix を見たりするのがおすすめです。また、英語の発音を学ぶのも大切だと思います。

この大学を選んだ理由

私はもともとアメリカに留学したいという漠然とした夢があり、特にアメリカの文化や雰囲気が好きだったのでアメリカに留学することを決めました。カリフォルニア州に決めたのも、明治大学からの留学生が多いからなんとなくという理由で選びましたが、カリフォルニアにして正解だったと思います。中でも特にロングビーチは比較的治安が良く、LA などの観光地からも近く、また多種多様な人種の人がたくさんいて国際情緒豊かでとてもいいところです。

留學生活全般について

とにかく留学に行ってもよかったと思います。日本では学べないことをたくさん学べたと思っています。振り返ってみれば、毎日勉強や遊びで忙しい日々でしたが、本当に毎日楽しかったです。辛いことももちろんありましたが、その時にしっかり自分と向き合うことで自分自身が成長できたと思います。みなさんにおすすめしたいのが、毎日日記を英語で書くということです。日記を書く過程で自分の感情と向き合うのは大事だと思います。あとから自分で見返すのも面白くていいと思います笑

これを読んでいる人は留学に行くか検討しているかもしれませんが、絶対に行った方がいいと思います。アメリカの文化に興味がある人は1年間行くことをおすすめします。私はもともと半年間の留学をする予定でしたが、アメリカでの留學生活が思ったより楽しくて途中で留学を延長したいと思うようになり、認定留学での延長をしたので、興味がある人は1年間行くことを選択した方がいいと思います。もちろん、半年間でも語学力を上げたりたくさんのことを学べるチャンスはありますが、私は4ヶ月は短く感じてしまったので1年間留学することを選びました。留学をして大学生のうちに様々な経験を積んだ方が自分のためになると思います。日本で大学の授業を淡々をこなすより、アメリカに行って辛いことも楽しいことも全て自分の身をもって経験し、アメリカでしか学べないことを学んで、色んな人に出会う方が自分にとっての学びが多いと思います。

日本にいる間も、留学に行っても、わからないことがあったら人に聞くということが大事だと思います。日本にいてわからないことがあれば明治大学から同じ大学に留学した先輩に聞くのがいいと思います。自分に自信を持って目の前のことをきちんとこなして一生懸命頑張ってください！長々と書いてしまいましたが、とにかくアメリカでの留學生活は楽しいです！みなさんが思っているよりも楽しいです！なのでぜひ留学することを検討してみてください。みなさんが充実した留學生活を送れることを願っています！